

# 苫小牧市民文化ホール

---

資料 1

# 基本情報

---

所在地	北海道苫小牧市	敷地面積	40,000㎡
人口	16万人（旭川市／32万人）	大ホール	約1,200席（2層）
総事業費	114億円（運営費を除く）	駐車台数	—



△イメージパース <https://www.tomakomai-hall.jp>

ーコンセプトー

---

**親近感と愛着を持てる憩いのプラザ  
～苫小牧市民のサードプレイス～**

## 【コンセプト立案の流れ】

建替えの背景



第2～4回検討会



第5～6回検討会



第7回検討会  
ワークショップ

## 背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

### ① 現市民会館，その他市民文化系施設の**老朽化**



市民会館 築55年



文化会館 築44年

### ② **人口減少**やライフスタイルの**多様化**に伴う**公共施設の再編**



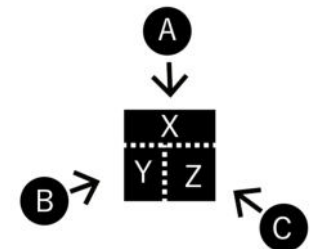
苫小牧市の総合計画（基本構想・第5次基本計画改訂版2013-2017）

---

- ・「人間環境都市」の創造を目指すまちづくり事業
- ・「学ぶ喜びがあふれ文化香るまち」の拠点となる施設



**コミュニティを継承**



**新しい市民文化系複合施設**の整備

## 【コンセプト立案の流れ】

建替えの背景



**第2～4回検討会**



第5～6回検討会



第7回検討会  
ワークショップ

背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

## 理想的な施設の在り方を議論

【主に議論されたキーワード】

アクセシビリティ

公共性

文化拠点

機能連携

パラダイムシフト

図と地

無目的利用

コストパフォーマンス

・  
・  
・

・  
・  
・



背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

【主に議論されたキーワード】

アクセシビリティ



子持ちの母親や高齢者などの具体的な市民像をイメージした駐車場・公共交通の整備が必要である

無目的利用



利用目的がなくとも訪れることができる施設づくりを目指すべきである

機能連携



複合化にあたっての機能の柔軟な連携や相乗効果を担う必要がある

## 【コンセプト立案の流れ】

建替えの背景



第2～4回検討会



**第5～6回検討会**



第7回検討会  
ワークショップ

## 既存施設の活動や課題を議論

【主に議論されたキーワード】

フレキシビリティ



特定利用の占有化を避け、全体的に利用するための諸室の柔軟性を確保する

定常・定期利用



常に利用が見込まれる使われ方によって施設の賑わいや、ついで利用を促す

脱管轄・脱所管



管理や所管を別個するのではなく、一括する仕組みを考えるべきである

背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

【既存の施設】



市民会館



文化会館



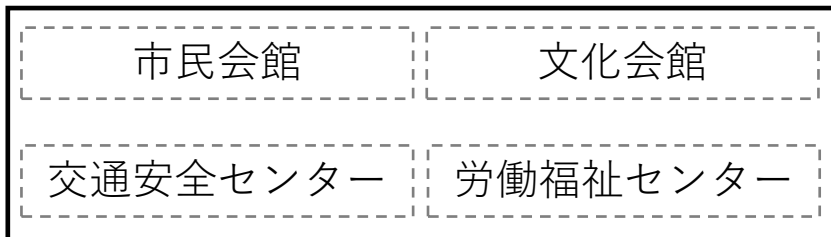
労働福祉センター



交通安全センター



既存施設の集合体



新たな施設を機能ごとに再定義

活動

鑑賞

展示

窓口

## 【コンセプト立案の流れ】

建替えの背景



第2～4回検討会



第5～6回検討会



**第7回検討会  
ワークショップ**

背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

## 基本構想の要点を整理・基本計画に向けた方針を明確化

するためにワークショップを実施



背景

第2～4回  
検討会

第5～6回  
検討会

第7回検討会  
ワークショップ

第6回検討委員会で提案された**4つの機能**に応じて、  
**これまでのキーワードを配置。**

そこから**連想されるアイデア**を書き足していく



コンセプト

---

# 親近感と愛着を持てる憩いのプラザ（公共の広場） ～苫小牧市民のサードプレイス～

7つの基本理念

---

市民主体

コストパフォーマンス

公共性

相乗効果

アクセシビリティ

図と地

パラダイムシフト

4つの機能

---

活動

鑑賞

展示

窓口